

1. 地域の概要

中部農林土木事務所の所管する地域は、沖縄本島のほぼ中央に位置し、北はうるま市・読谷村から、南は浦添市・西原町にまたがる4市3町3村の農漁業地域を所管する。

地形は、海岸部の平地と中央部の標高100m前後の台地が緩やかに連なる丘陵地帯からなり、主要河川である天願川と比謝川が東西に流れている。地域の中央部を広大な米軍基地(地域の23%を占める6,400ha)が占めており、周辺部に市街地と農漁村が混在する特異な土地利用形態となっている。

圏域面積は、県全体の12.3%にあたる28,114ha、農振地域面積10,843haの内、農用地区域面積は3,364haで圏域面積の12.0%となっている。沖縄県の総人口の43%に当たる608,364人が中部に集中し、都市化の進展が著しく、宅地の需要が旺盛なことから、耕地面積の減少の大きな要因となっている。1戸当たりの経営面積は0.79haと小さく、専業農家率は23.7%で低い状況にある。

農業は、さとうきび・花卉を主体に展開され、近年は、葉たばこ・ニンジン・紅芋・オクラ等の産地化に努めている。

漁業は、パヤオ漁・刺し網・1本釣漁・もずく養殖を中心とした沿岸漁業が主で、特にもずく養殖は県内でも屈指の生産量を誇っている。

2. 平成26年度事業概要

(1) 農業農村整備事業

亜熱帯・島しょ性に適合した特色ある農村振興と、地域特性に適合した農業生産基盤整備を推進するため県営かんがい排水事業・県営畑地帯総合整備事業・農山魚村活性化プロジェクト交付金を実施する。

また、農地や県土等を自然災害(台風等)から守るため、農地保全整備事業・地すべり対策事業・海岸保全施設整備事業等の農地防災事業を実施し、農家の要望に柔軟に応えるべく農業基盤整備促進事業を実施する。

(2) 漁港漁場整備事業

地域の漁業は、沿岸漁業が主で漁船も5t未満が多いのが特色である。漁船の安全確保と漁業の振興を図る必要から、水産生産基盤整備事業・水産流通基盤整備事業・漁村再生交付金により、漁港の整備(防波堤・波除堤・物揚場・浮桟橋等)を推進する。

(3) 耕地面積と農家数

市町村名	総人口(人)	販売農家(戸)	耕地面積	総農家数(戸)	一戸当り耕地面積	専業・兼業別農家数(戸)					構成比(%)		
						計	専業	兼業	第1種	第2種	専業	第1種	第2種
うるま市	118,626	659	1,110	1,433	0.77	659	341	318	124	194	51.7	18.8	29.5
沖縄市	132,381	153	163	312	0.52	153	55	98	46	52	35.9	30.1	34.0
読谷村	39,136	239	836	592	1.41	239	111	128	43	85	46.4	18.0	35.6
嘉手納町	13,622	24	42	47	0.89	24	15	9	7	2	62.5	29.2	8.3
北谷町	27,803	2	10	15	0.67	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
北中城村	16,171	44	83	174	0.48	44	18	26	9	17	40.9	20.5	38.6
中城村	18,907	173	351	522	0.67	173	65	108	43	65	37.6	24.9	37.5
宜野湾市	94,139	45	52	117	0.44	45	18	27	7	20	40.0	15.6	44.4
西原町	34,948	113	218	334	0.65	113	40	73	27	46	35.4	23.9	40.7
浦添市	112,631	34	10	98	0.10	34	15	19	7	12	44.1	20.6	35.3
中部管内	608,364	15,123	2,875	3,644	0.79	1,484	678	806	313	493	45.7	21.1	33.2
沖縄県	1,416,587	15,123	39,200	21,547	1.82	15,123	7,594	7,529	2,728	4,801	50.2	18.0	31.8

※総人口はH25・10月時点、販売農家数以下はH22年度の数字

資料：平成26年3月版 農業関係統計



チーム畑ちゆくやー



すぬいちゃん(にゆる、にゆる)